

# 常任委員会 だより



## 総務常任委員会

平成21年6月17日本会議において付託された議案、陳情および継続審査となっている陳情について、18日田沢湖庁舎3階第1会議室において委員会を開催、議案2件、陳情1件、継続審査中の陳情1件の計4件を審査した。

### 一般会計補正予算

#### 【歳入・総務費委託金】

**問** 農山村活力向上モデル事業交付金は新規事業なのか。

**答** 県が昨年度から実施している事業で、今年度選定された3地区に市の「白岩むらおこしプロジェクトS」が入った。県と市が委託契約を結んで実際の事業を行うのは

当該団体である。県からの委託金で事業を行うもの。国際教養大学と連携して中長期的な活性化の計画を策定するものである。

**問** 来年度以降も継続していく事業なのか。

**答** 県支出金は今年度だけだ。今年度に策定した計画に基づいて次年度からは集落が行うものである。

#### 【歳入・農林水産費委託金】

**問** カドミ対策の経費で県からの委託金との事だが。

**答** 湛水に係る経費で農協が委託を受けて、重点期間を設けて湛水管理、指導、巡回、説明会等を行

行う内容の事業である。

#### 【歳入・財産収入】

**問** 旧神代診療所跡地を民間に譲渡するという事だが、あの土地は旧田沢湖町当時には町営住宅の建設予定の用地ではなかったのか。いつの時点で目的が変わったのか。

**答** 平成10年に第3次田沢湖総合発展計画を作成する中で町営住宅建設の調査をしたが、計画の条件に合っていない事から計画には盛り込まれなかった。新市になった段階でも神代地区の町営住宅建設計画の中にも盛り込まれていない。譲渡にあたっては地域の方々にも協力と承諾を頂いており、売却に当たっては申請通り認めたという経緯



有償譲渡が決まった旧神代診療所跡地

#### 【債務負担行為・東風の湯】

**問** 業務委託の考え方については以前にも議論した経緯がある。委託先の経営努力が反映される契約が出来ないものか。

**答** 東風の湯は19、20年度とも黒字となった。少額であっても指定管理費を減額すべきとの意見も出たがもう少し様子を見ながら検討したい。

#### 【歳出・交通対策費】

**問** 秋田内陸地域公共交通連携協議会負担金187万円は主にソフト事業への負担金だが、ハード面での今後の計画は。

**答** 今回の地域公共交通活性化再生総合事業はソ

フト事業がメインの事業で、ハード事業の整備については鉄道事業再構築実施計画で行う事としている。

同事業の実施では国から3分の1の支援が受けられる事となっているが、今年4月に道路特定財源が一般財源化された事に伴って、地域活力基盤創造交付金が創設され、これに対象となれば

国からの助成が2分の1である事から、これまで

進めて来た上下分離方式による3分の1補助支援より有利なので、県と一緒に調査している段階である。それと共にハード事業を行うに当たっては、収益計画がしっかり出来ない、本格的な着手は出来ない、ので経営改善計画に一生懸命に取り組んでいる所である。

生保内財産区会計補正予算

生保内北部分収林組合で33年生の杉を間伐。この公売代金216万円を収益分収割10分の8の173万円を当組合に分収林交付金として交付する補正予算

両議案とも全会一致で可決と決定した。

### 陳情

【日米地位協定に関わる要請について】と【JR不採用問題の早期解決を求める陳情書】については、さらに調査が必要のため継続審査とした。



総務常任委員会審査風景